

【令和7年度 学校評価アンケート結果公表】

1年間の学校生活を振り返り、学校評価アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。今年度の生徒アンケートおよび教職員アンケートの内容については質問内容を精査し、できる限り同じ質問にするようにしました。「そう思う」「ややそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「分からない」の5つの回答の中から答えを選択する方法です。その中で「そう思う」「ややそう思う」を肯定的な回答として割合(%)に表し、生徒・教員と比較して示しました。そして、肯定的な回答割合の80%以上をととも高い。70%以上を高い。50～70%を普通程度。50%以下を低いと分析して評価しました。

次に、質問内容を大きく変更したのが保護者アンケートです。こちらは、選択方式ではなく、すべて記述式とさせていただきます。これは、一昨年度、昨年度に「質問内容について分からないことが多い」というご意見を多数いただいたからです。そのため、学校の取組を記載したうえで、「今後も継続してほしい取組や活動」と「改善を希望する取組や活動」を書いていただきました。回答率が低かったことが反省点ですが、具体的な意見が多く、教職員の励みになったり、課題が明らかになったりしました。この学校評価アンケート結果を学校経営に生かして、よりいっそう「生徒が健やかに成長できる田柄中学校」を作ってまいります。

1 生徒・教職員アンケート結果

【令和7年11月実施】 ※【生】は生徒への質問／【教】は教員への質問

質問内容 / 回答	生徒	教職員
01 【生】授業の始めに、「今日何を学ぶかめあて」を理解し、授業を受けられていますか？ 【教】授業の始めに、生徒が「今日何を学ぶか(めあて)」を理解し、主体的に取り組めるよう明確に提示・共有できていますか？	80%	100%
02 【生】「めあて」がはっきりしている授業は、目標が明確になり学習意欲も高まりますか？ 【教】田柄中学校スタンダードを意識した授業づくりができていますか	80%	93%
03 【生】先生は、授業内容が理解できるように、工夫して教えてくださいませんか？ 【教】生徒が授業内容を確実に理解できるよう、指導方法や教材に工夫を凝らしていますか？	89%	100%
04 【生】先生は、成績をつける際の評価方法や基準を示してくれていますか？ 【教】成績評価の方法や基準を、生徒に明確に示し、理解させていますか？	89%	100%
05 【生】タブレット端末を使って、自分で調べる力や学ぶ力がついたと思いますか？ 【教】授業におけるタブレット端末の活用は、生徒の自ら調べる力や学ぶ力の向上に貢献していると思いますか？	80%	76%
06 【生】授業に話し合い活動や、みんなの前で発表をする機会がありますか？ 【教】生徒の思考力・表現力を育成するため、授業で意図的に話し合いや発表の機会を設けていますか？	90%	80%
07 【生】話し合いや発表で、自分の考えをまとめたり深めたりして、伝えられるようになったと思いますか？ 【教】話し合いや発表の場を通して、生徒が自分の考えをまとめ、深め、他者に伝えられるよう指導・支援できていますか？	78%	60%
08 【生】先生は、あなたの得意なことや努力を理解したり、質問に答えてくれたりと、応援してくれていますか？ 【教】生徒一人ひとりの得意なことや努力を理解し、質問や相談に適切に対応するなど、学習面・精神面で生徒を応援・支援できていますか？	85%	87%
09 【生】先生との面談(三者面談、SC 全員面談(1年時)や教育相談(しゃべりにおいでよ)やアンケートは、悩みを相談したり自分の課題や良さを実感できる場になっていますか？ 【教】生徒との面談やアンケートなどの場は、生徒が悩みを相談したり、自己の課題や良さを実感したりできる、有意義な場として機能していますか？	79%	100%
10 【生】学校に通うのは楽しいですか？ 【教】生徒が「学校に通うのは楽しい」と感じられるよう、日々の教育活動や生徒指導に努めていますか？	88%	94%
11 【生】学校は、いじめについて調査したり、いじめを許さないという姿勢で取り組んでいると思いますか？ 【教】学校として、いじめの防止、早期発見、適切な対応、そして「いじめを許さない」という毅然とした姿勢を生徒に示し、取り組んでいると思いますか？	82%	100%

1 2	【生】避難訓練や安全指導を通して、自分の命や身を守る方法を学んでいますか？ 【教】避難訓練や安全指導は、生徒が自分の命や身を守る方法を具体的に学べる、実効性の高いものになっていますか？	95%	100%
1 3	【生】自分の行動を振り返り、改善しようと考えることがありますか？ 【教】生徒が自らの行動を振り返り、改善しようと自立的に考えるよう促す指導ができていますか？	90%	100%
1 4	【生】トラブルが起きたとき、自分たちで解決するために努力できていますか？ 【教】生徒がトラブルに直面した際、自分たちで解決するために努力する態度を育て、そのための支援ができていますか？	84%	87%
1 5	【生】自分たちでの解決が難しい場合や悩んでいるとき、相談できる雰囲気や環境が学校にはありますか？ 【教】生徒がトラブル解決が難しい場合や悩んでいるとき、遠慮なく相談できる雰囲気や環境を学校全体で提供できていますか？	79%	88%
1 6	【生】学校の施設（各教室・特別教室・体育館・プール等）はそれぞれ整備され使いやすいですか？ 【教】学校の施設（各教室・特別教室・体育館・プール等）は、生徒にとって整備され、学習や活動に支障なく使える状態にあると思いますか？	86%	82%
1 7	【生】給食は楽しみな時間であり、また、季節を感じたり、日本や世界各地の料理を学んだり、栄養バランスを考えたメニューになっていると思いますか？ 【教】給食を単なる食事でなく、食育の一環として、生徒が楽しみ、文化や栄養について学べる時間となるよう指導・工夫できていますか？	89%	83%
1 8	【生】保健体育の授業や昼休み、学校行事を通して体を動かす楽しさを感じていますか？ 【教】保健体育の授業や学校活動を通して、生徒が体を動かすことの楽しさや重要性を実感できるよう指導・計画できていますか？	90%	88%
1 9	【生】運動会や合唱コンクールなどの学校行事は楽しいですか？ 【教】運動会や合唱コンクールなどの学校行事が、生徒にとって楽しく、思い出に残るものとなるよう企画・運営できていますか？	92%	100%
2 0	【生】学校行事に主体的に参加し、友だちと協力できていますか？ 【教】学校行事において、生徒が主体的に参加し、友だちと協働する力を育むよう指導できていますか？	93%	100%
2 1	【生】校外学習や職場体験、宿泊学習は、自分にとってためになりますか？ 【教】校外学習、職場体験、宿泊学習などの体験活動は、生徒の成長に資するよう目的をもって計画・実施できていますか？	96%	100%
2 2	【生】特別活動（生徒会活動・学級活動・委員会活動など）では、自分の考えや意見を発表できるなど、主体的に活動できる場になっていますか？ 【教】特別活動（生徒会活動・学級活動・委員会活動など）は、生徒が自分の考えや意見を発表し、主体的に学校づくりに参加できる場として機能していますか？	89%	94%
2 3	【生】道徳の授業では、教科書や資料を読んで、自分の考えを深めることができますか？ 【教】道徳の授業において、生徒が資料や教材をもとに、自分の考えを深く考察し、多面的に捉えるよう指導できていますか？	89%	92%
2 4	【生】学校のきまりは、みんなが気持ちよく過ごすために必要な内容になっていますか？ 【教】学校のきまりが、生徒にとって学校生活を気持ちよく送るために必要かつ合理的な内容になっていると思いますか？	88%	86%
2 5	【生】今ある学校のきまりを守り、安全安心に過ごせるよう生活できていますか？ 【教】生徒が学校のきまりを遵守し、安全安心な学校生活を送れるよう、適切な指導・支援ができていますか？	92%	82%
2 6	【生】学校は、地域と協力し、ボランティア活動や防災訓練など、社会と関わる機会を設けてくれていますか？ 【教】学校は、地域と連携・協力し、生徒が社会と関わる機会（ボランティア活動、防災訓練等）を積極的に設けていますか？	83%	66%
2 7	【生】学校での様々な活動を通して、自分の長所を見つけることができますか？ 【教】学校での活動を通して、生徒が自己の長所や特性を発見できるよう、指導や声かけで支援できていますか？	82%	93%

28 【生】授業や体験活動を通して、将来の夢や生き方について考えることができていますか？ 【教】授業や体験活動を意図的に活用し、生徒が将来の夢や生き方について深く考える機会を提供できていますか？	85%	86%
29 【生】この1年で、あなた自身が「成長したな」「できるようになったな」と感じることはありますか？ 【教】生徒がこの1年で「成長した」「できるようになった」と自己肯定感を高められるよう、その成長を認め、指導に活かしていますか？	90%	100%
30 【生】この学校に通っていて、よかったと思いますか？ 【教】この学校が、生徒にとって「通っていてよかった」と思えるような、魅力的な教育環境であるために、貢献できていると思いますか？	92%	88%

2 保護者アンケート結果

(1) 様々な活動の中で評価できるもの、継続してほしい取組

<情報発信・情報共有>

- ①保護者への連絡等がWEBで完結しているのが便利で助かっている。
- ②学校日より、学年日より、ホームページで学校生活がよくわかり会話のきっかけにもなる。

<タブレット端末の利用>

- ①ICTを活用した授業の継続は、上級学校や社会に出ても役立つ。
- ②グーグルクラスルームの活用など評価できる。

<教育活動について>

- ①再登校の頻度の減少や自転車での来校が可能になったことに感謝している。
- ②全てのアンケートを記述式に変更したり、何事も積極的に改善していこうと努力をしているところに良い印象をもっている。
- ③子供が学校生活に不安感があった際の早期対応に感謝している。先生が見てくれているという安心感があり、親としても情報共有があるのでありがたい。一人一人に目が行き届いて安心。
- ④基礎学力の向上に向けた地域未来塾を続けて欲しい。
- ⑤個に応じた課題の工夫と全員面接の実施。
- ⑥「田柄スタンダード」に基づく授業のめあての設定や、振り返りは細やかに丁寧に行われている。
- ⑦大人が決めたことではなく、生徒自身が自分たちのために話し合っていることはいい取組だと思う。ルールメイキングなど生徒の意見を取り入れながら校則を見直すことは今後も続けていって欲しい。
- ⑧生徒と校長先生のミーティングがよいと思う。
- ⑨既存の行事の継続を希望する。(運動会や移動教室、修学旅行、合唱コンクール、生徒会役員の選挙投票の仕方 など)
- ⑩運動会の全員リレーや部活対抗リレーなど、みんなで協力してがんばることができる競技がとてもよかった。先生方も参加して一緒に走ってくださり、ぜひこれからも継続してほしい。
- ⑪運動会、合唱コンクールなどの行事を通して、生徒が頑張る姿や成長を観る良い機会なので、今後も重点的に取り組んで欲しい。
- ⑫合唱コンクールはクラス単位での努力が良くわかり感動した。親も楽しめた。できれば学校で開催してほしい。運動会はクラス、学年の枠を超えて協力している姿がとても素敵だった。
- ⑬いじめ防止のいろいろな取り組みを継続してほしい。
- ⑭スクールカウンセラーの面接も年に一度とか定期的にしてもらえたらありがたい。
- ⑮公開授業を継続してほしい。水泳授業での配慮や夏の体操着登校、ポロシャツ導入が良い。

<部活動>

- ①部活の外部コーチの積極的な活用を継続してほしい。
- ②部活動は、働き方改革が指摘される中、先生方が日々ご尽力くださり応援していただき、子どもたちの励みになっている。
- ③学校が主導となっていく部活動を継続してほしい。
- ④部活動の地域移行に取り組んだり、新しいことに生徒を交えて挑戦している姿に感心している。

(2) 今後、改善を希望する取組や新たに学校に求める取組

<学校からの情報等について>

- ①年間行事予定や行事案内（開催時間等の詳細、プログラムや弁当が必要など）の配布をより早い時期にお願いしたい。
- ②学年通信を配信だけでなく、保護者・生徒用2枚の紙での配布もお願いしたい。
- ③保護者会で説明された内容の共有（保護者会に不参加だった保護者への情報共有）をお願いしたい。
- ④学校内の臨時集会など、良いこともそうでないことも知らせていただけたら気になることが減る。

<タブレット端末の利用について>

- ①全生徒に配布されているノートパソコンが重すぎるので早急に軽量化を検討し改善してほしい。
- ②タブレット端末の持参について、使用する日を予め決めるなど、荷物の負担を減らす配慮が必要。
- ③タブレットに不具合があり修理に出した場合は、自宅に持ち帰えられる代替機を貸与してほしい。または、その期間は提出期日の延期などの対応をしてほしい。
- ④保護者も子の作ったスライドや課題を閲覧できる仕組みがほしい。（本人が見せてくれないため）
- ⑤宿題の提出は、紙を継続してほしい。
- ⑥タブレットの使用時間制限（22時まで）について疑問を感じる。

<学習面について>

- ①定期考査の解き直しや解説の時間を充実させてほしい。
- ②地域未来塾は、基礎クラスと応用クラスを作ってほしい。
- ③英検対策をしてほしい。
- ④定期考査の勉強と提出する課題を並行して進められずに困っている生徒がいる。
- ⑤成績の評価方法や基準がわかりにくい教科があるため、明確にしてほしい。
- ⑥定期テストでは平均点との差なども考慮してほしい。
- ⑦回答が導き出せない問題（特に数学）を定期考査に出さないでほしい。相互チェックやAI活用などで問題作成を徹底し、多くの生徒が得点できる難易度にしてほしい。
- ⑧平均点の高い教科、低い教科の差が激しいのは、先生の指導方針など改善の余地がある。
- ⑨個別学習支援を希望する。
- ⑩定期考査後の再テストについて、解説（タブレット配信）が遅いと感じる（月曜テスト返却、木曜解説、金曜再テスト）。解説をもう少し早く、もしくは再テスト日をもう少し遅くしてほしい。
- ⑪放課後自習できる場所があればいいと思う。

<部活動について>

- ①部活の大会時の連絡が早めにほしい。（弁当が必要かなど）
- ②部活動の活動内容や情報発信をもっと充実させてほしい。
- ③クラブチームへ移行（部活動の地域展開）された後の相談窓口を明確にした方がよい。
- ④部活動の充実を希望したい。部活の種類を増やして欲しい。日数を減らさないでほしい。
- ⑤部活の再登校を廃止してほしい。その間は生徒たちが考えて部活をすればいい。
- ⑥部活動を外部委託後、運営がうまくいっていない部活がある。学校主導で外部講師にお願いし、部活動として維持することはできないか。学校側の目がなくなることで、外部講師側が適切に対応せず、活動が妨げられていると感じる。
- ⑦部活動のクラブチーム化などについて、兼部や他の競技との両立、学校とのかかわりなど、詳しくご説明いただけると助かる。
- ⑧部活動に力を入れないなら入学前に知りたかった。活動頻度が少なすぎる。

<生活指導について>

- ①ルールメイキングの取組について、「ただオシャレをしたいという欲求任せにルール変更を求め、先生方が許す」現状に疑問と心配を感じる。「快適さ」「自主自立」「責任ある自由」等に向かうためのルール改良であれば応援する。ルールメイキングで改善しようとしている内容に現状守れていない内容が含まれているのは、主旨から外れているのではないか。

- ②先生がもう少し威厳をもって生徒と接し、私語や遊びがないように指導してほしい。
- ③不適切な言動があった場合、加害者の登校停止措置を取ることはできないか。
- ④体調不良で休む以外で、個別理由で登校ができない際に授業をオンライン受講できるようにしてほしい。
- ⑤指導する立場の者は嘘や噂を言い広げることは許されない。

<その他>

- ①（練馬区内の）高校見学に行事として行けると良いと思う。
- ②修学旅行は受験活動への影響が大きいので、3年春までに終わらせてほしい。
- ③定期考査の期間の給食導入をお願いしたい。
- ④学芸会や文化祭的なものを希望する。
- ⑤電話応対について、明るく元気な雰囲気希望する。
- ⑥各教科の授業後に先生が生徒の授業評価を行うが、生徒から先生に向けての評価もあっても良いのではないか。先生だけが行うのは一方的に感じる。
- ⑦保護者会の開催時間を2時半ではなく、もっと遅くしてほしい。また オンライン配信やオンデマンドでも配信してほしい。
- ⑧学芸会や文化祭的なものができないか。

3 結果分析と次年度に向けて

1 本年度の成果と評価できる点（よかった点）

(1) 生徒・教職員ともに多くの項目で高い肯定率（70～80%以上）が得られました。

①「めあて」の共有と学習の充実

授業冒頭での目標提示や評価基準の明確化について、生徒の80%以上が肯定的に捉えています。

②主体性を育む学校行事

運動会や合唱コンクール、特別活動への主体的な参加については生徒・教員ともに極めて高い評価（90%前後）となっており、行事を通じた成長が実感されています。

③安全・安心な環境づくり

避難訓練等の安全指導（生徒95%）や、いじめ防止（生徒82%）について高い信頼を得ています。

④学校への愛着

「この学校に通ってよかった」という生徒が92%に達しており、教育活動の基盤が確立されています。

(2) 保護者の皆様の意見からは、全体として、学校の「積極的な改善姿勢」や「丁寧な生徒対応」が評価されています。（ご意見は一部まとめたり整理したりしておりますが内容全てを掲載しました）

2 課題解決に向けた対応策と次年度の方向性

(1) 生徒・教職員アンケートの結果より

- ①話し合いや発表の機会は多いものの（90%）、それを自分の考えとして深め、他者に伝える力については、教員の評価が60%に留まっており指導の工夫が必要です。そのため、生徒の発表をゴールにせず、思考の可視化や評価のフィードバックに力を入れます。
- ②社会と関わる機会の提供について、生徒の肯定感（83%）に対し教職員の自己評価は66%に留まっていますので、職場体験（教100%・生96%）の高評価を活かし、地域の方をゲストティーチャーとして招くなど、社会との接点を増やします。また、地域ボランティアや防災訓練への参加を「社会貢献」として適切に価値付け、生徒の自己肯定感をさらに高めます。
- ③端末活用による自学能力の向上への貢献実感は、教職員（76%）が全項目の中でも低めの評価となっていますので、調べ学習の道具から、思考を深めるためのツールへと活用場面をシフトします。
- ④決まりの遵守状況について、生徒（92%）と教職員（82%）の間で認識の差が見られます。そのため、校則の遵守について生徒の意識が高い（92%）現状を活かし、生徒自身が「なぜこのルールが必要か」を語り合う場を継続し、納得感のある指導を徹底します。

(2) 保護者アンケートの結果より

①学校からの情報発信・共有について

情報の迅速な提供は、ご家庭との連携において最優先課題と認識しております。年間行事予定や行事の詳細（弁当の有無等）については、可能な限り早期の周知に努めます。保護者会等の資料については、WEB 配信（一部紙の配布もあり）を行います。オンデマンドなどの動画配信については、現状お約束できませんが、参加できなかった保護者様も内容を確認できる体制を整えます。

②学年通信等お便りの「紙での配布」については、練馬区の進めるペーパーレス化や教職員の業務精選の観点から、現在はデジタル配信を主軸としております。来年度も紙配布は極力行わない予定ですが、検討はさせていただきます。ご理解いただけますと幸いです。

③タブレット端末については、練馬区教育委員会の運用規定に基づき、充電や家庭学習での活用のため持ち帰りとなります。端末の軽量化は自治体レベルでの検討事項となりますが、学校としては、持ち物（副教材等）の調整や「置き勉」の工夫により、生徒の身体的負担を減らす方を模索します。

④タブレット端末の代替機の貸与については在庫に限りがありますが、提出期限の柔軟な対応など、学習に支障が出ないよう個別に配慮しますので各担当にご相談ください。（生徒からの申し出で結構です）

⑤使用制限（22 時まで）については、適切な睡眠時間の確保と生活リズムの維持のため、区のガイドラインに従って運用を行っております。今後も継続して練馬区には制限の緩和を相談します。

⑥学習指導・定期考査について、基礎学力の定着と、進路実現に向けた力の育成を両立させます。

定期考査の難易度へのご意見がありました。定期考査は日頃の学習の定着度を確認すると同時に、進学を見据えた実力を測る場でもあります。全員が得点できる基礎問題だけでなく、応用力・思考力を問う問題も必要となりますので、ご理解をお願いいたします。

⑦成績の評価方法や基準については、生徒・保護者の方々にさらに分かりやすく示せるよう、各教科で周知を徹底します。また、次年度はルーブリック評価表を利用して分かりやすく説明してまいります。

⑧地域未来塾の充実を目指し、基礎・応用のニーズに応えられるよう運営形態を検討してまいります。放課後は、部活動や委員会指導、行事準備、研修や事務処理、また、様々な対応があり、講師を教員が担うことが難しいため、指導者確保と費用確保を行う必要があります。新たな取組まではお約束できないことをご理解ください。

⑨部活動の地域展開（地域移行）については、国や都および練馬区の方針に基づき、持続可能な部活動の形を模索しています。国は令和 8 年度から 3 年間で土日の活動に教員が関わらないようにすると公表しています。本校でも、今後活動日数の変更やクラブチーム化を行う場合は、保護者説明会や生徒への説明会を行い、皆様の声を伺いながら丁寧にプロセスを進めていくことをお約束いたします。

⑩部活動における大会等の日程や準備物の連絡については、より早い発信を心がけるよう各部顧問や外部指導者にも周知します。

⑪ルールメイキングの取組は「ただ自由にする」のではなく、自律した生徒を育てるための「責任ある自由」を学ぶ機会と捉えています。弁護士を講師としてお招きした授業を行ったり、「今あるルールを守ってこそ信頼される」という原則を指導し、主旨から外れないよう、指導の徹底を図ります。

⑫学校行事の追加（文化祭の新設等）については、定められた授業時数の確保や持続可能な行事運営（ごみの処理等 SDG s の観点含む）、教職員の働き方改革の観点から、現時点では困難な状況にあります。既存の行事をより質の高いものにすることに注力いたします。

⑬登校困難時のオンライン受講については、個別の状況に応じて、区の規定の範囲内で柔軟に対応を検討いたします。

★結びに、学校としてすべてのご要望を即座に実現することは難しい側面もございますが、生徒一人一人が安心して学べる環境づくりを目指します。具体的には、生徒の声を反映した「ルールメイキング」や、保護者の皆様の声を反映した「記述式アンケート」など、対話を重視した学校運営を続けてまいります。生徒一人一人が「自ら考え、行動し、成長を実感できる学校」を保護者、地域の皆様と作っていくよう努めてまいります。